

平成 24 年度 第 4 回長崎県がん診療連携拠点病院研修会
(アンケート調査結果)

開催日 平成 25 年 2 月 28 日 (木)

時 間 18 : 30~20 : 00

場 所 長崎大学医学部 良順会館 ボードインホール

出席者 49 名 回答者 33 名

出席者の内訳

職名	施設名			
	長崎大学病院	健康保険諫早総合病院	他施設	
医師	8 名	8 名	0 名	0 名
薬剤師	8 名	5 名	3 名	0 名
看護師	28 名	19 名	2 名	7 名
管理栄養士	2 名	2 名	0 名	0 名
MSW	2 名	2 名	0 名	0 名
事務職員	1 名	1 名	0 名	0 名
その他	1 名	0 名	0 名	1 名
計	50 名	37 名	5 名	8 名

～今回の講演の内容について～

① よかったところ

- ・具体的であった。(医師)
- ・曝露される作業がわかり、自分たちの問題として捉えることができた。(医師)
- ・とても勉強になった。(医師)
- ・治療中の患者・家族から薬物が出るのは驚きだった。(薬剤師)
- ・院内の職業曝露対策の必要性を再認識できた。(薬剤師)
- ・抗がん剤による汚染の対策の結果について、データで示されており、理解しやすかった。(薬剤師)。
- ・抗がん剤の汚染については認識していたが、具体的にデータとして示していただけて理解しやすかった。(薬剤師)
- ・抗がん剤の発がん評価を知ることができた。当院で行っている調製法が間違っていないことが確認できた。(薬剤師)
- ・グラフでわかりやすかった。(薬剤師)
- ・ていねいでわかりやすかった。(薬剤師)
- ・研究結果をふまえての講演だったのでわかりやすかった。(薬剤師)
- ・よくチェックされていておそろしく思います。(看護師)
- ・今後の業務の参考になった。(看護師)
- ・データに基づいたわかりやすい講義でした。(看護師)
- ・データで示してわかりやすい講演でした。(看護師)

- ・曝露についての重要性を再認識できた。今回の研修で当院での今後の課題を見つけることができた。(看護師)
- ・曝露の危険性については知っていたが、実際数値に表されてみたのは初めてだったので大変勉強になった。より曝露に対しての意識が高くなった。とてもわかりやすかった。(看護師)
- ・抗癌剤曝露予防のための安全対策キット使用に関する検討結果(看護師)
- ・薬剤を使用するときの自分自身の保護の方法(看護師)
- ・とてもわかりやすい講演でした。とても勉強になりました。(看護師)
- ・内容が具体的でわかりやすかったです。(看護師)
- ・わかりやすかった。(看護師)
- ・抗がん剤の曝露がミキシング以外でも様々な場面で多くありうるということ。(看護師)
- ・職業的曝露の危険性がよくわかりました。(その他)

② 気になったところ

- ・参加者が少ない。(医師)
- ・抗がん剤を投与した患者の家族からも抗がん剤が検出されることに驚いた。(薬剤師)
- ・最初、会場が寒かったです。(薬剤師)
- ・抗がん剤を使用している患者・家族への曝露対策を周知できるか。(薬剤師)
- ・閉鎖系注入器具の使用について
- ・シート・包布などの処理をする補助者への補助具について手袋・エプロンでいいのだろうか。(看護師)
- ・たくさんあったので、自施設で考えます。(看護師)。
- ・リネンの処理等、根拠を聞きたかった。(看護師)
- ・曝露は思ったより広い場所まで及んでいること。(看護師)
- ・私の病院ではまったく院内のマニュアルがないため、早急に！作成しないといけないと思いました。病院全体では考えていないように思います。管理者の人も講義を受けた方がいいと思いました。(看護師)
- ・在宅が増えている中、家族の曝露も気になりました。対策はどうすれば良いのか？(その他)

③ 講演に対する要望

- ・内容が少し難しかった。(看護師)
- ・追跡調査をして、また発表してほしい。(看護師)。
- ・内容が難しかったので、看護側の注意点等を知りたかった。(看護師)

次回の講演で希望すること

- ・曜日はいつでもいいのですが、佐世保の方でも行ってほしいです。(看護師)
- ・他のHPの院内マニュアルはどんな物か知りたい。(看護師)
- ・神経障害、皮膚障害について。(看護師)
- ・抗癌剤投与を受ける患者の看護について。(看護師)

がん診療センターに対する要望

- ・ありがとうございました。(看護師)